



初等部だより 11月号

鎌倉女子大学初等部
令和7年10月31日
第7号

あいさつからはじまる すてきな1日

部長代理 目崎 淳

毎朝7時40分頃から校門に立ち、初等部生とあいさつを交わすことを続けて4年半が経過しました。帽子を脱ぎ、笑顔で元気よく「おはようございます」とあいさつしてくれる初等部生もたくさんいます。子どもたちからあいさつしてくれることもあれば、わたしから声をかけることもあります。ふり向いた時にわたしの姿に気付いて「あっ、おはようございます!」、また校内ですれ違う時に「おはようございます」目線、顔の表情、声のトーン…わずか1、2秒の間ですが「今日は調子よさそうだな」「いつもと変わらず元気だな」「どうしたのかな」実に様々です。いろいろな心の中が何となく分かる気がします。

わたしは、毎朝笑顔であいさつをしてもらうと元気が出ます。気持ちが落ち込んでいる日も、初等部生の笑顔の「おはようございます」で前向きな気持ちに切り替えることができることも多くあります。教育の仕事に長く携わってききましたが、朝、子どもたちの笑顔のあいさつで、これまで何度も勇気付けられ、元気付けられて来ました。改めて「あいさつ」は凄いパワーを持っているなど感じます。

さて、令和7年度後期委員会活動が10月より始動しました。初等部には全部で10の委員会があり、4年生以上の初等部生がいずれかの委員会に所属し活動しています。子どもたちは、初等部での生活をよりよくするために、それぞれの委員会が目標を立てて日頃から活動を行うように努めています。

その中の一つである「代表委員会」では、

『あいさつからはじまる すてきな1日』

と称して、朝の校門でのあいさつ運動を始めました。8時10分頃になると、代表委員会の児童が、わたしが立っているところに来て、わた

しと一緒にあいさつ運動をしています。代表委員の児童は『初等部にあいさつの輪を広げる活動をしています。みなさん、さわやかなあいさつをしましょう。』と呼びかけていました。そして、しばらく行った後『みなさんの笑顔がとてもすてきでした。とくに、目を合わせてあいさつしてくれるところが良かったです。』とコメントしていました。



【朝の早い時間からがんばってくれました】

文部科学省小学校学習指導要領によれば、児童会活動の教育的目標は、児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる、となっています。(下線部 文部科学省小学校学習指導要領より引用) 子どもたちが率先して活動できたことは、今後の活動への自信につながるのではないかと思います。

わたしは、あいさつをする時に心がけていることがいくつかあります(わたしだけではなく多くの人がやっていることですが…)。まずは、「笑顔で明るく」、次に「言葉をはっきりと」、そして「相手の顔(目)を見ながら」です。あいさつはコミュニケーションですから、こちらの心の中が伝わる必要があります。そのためには「相手の顔を見ながら笑顔ではっきりと」あいさつすることが大切になります。

気持ちのよいあいさつであふれる初等部になればと願っています。